

2023年1月30日
株式会社 博報堂プロダクツ

リアルイベントの来場者データ分析を通じて、 イベント効果と来場者の関心度を計測するソリューション 「イベスコ」を提供開始

総合制作事業会社の株式会社博報堂プロダクツ（本社：東京都江東区、代表取締役社長 岸 直彦）は、リアルイベントの質的な成果を客観的に分析するため、これまでは感覚的に捉えることしかできなかったリアルイベントの効果を定量データ化し解析することで、イベント効果と来場者の関心度を計測できるソリューションとして、「イベスコ」の提供を開始いたしました。



「イベスコ」は、イベント会場内に設置するクラウドカメラの映像データをAIで解析することで、これまでのリアルイベントでは測ることの難しかった、「来場者数」「来場者属性」「関心度（滞在時間）」を判別／計測するソリューションです。これにより、イベントの来場者総数という結果だけではなく、エリア毎の関心度の比較検討が可能になり、イベントの詳細な成果分析や、改善点の発見などを、客観的なデータをもとにして行うことができます。

リアルイベントの企画・実施に多数関わってきた当社が、クラウド録画サービスシェア No.1 (*) のセーフティ株式会社と、店舗等の映像データのAI解析で高い専門性を持つ、ベトナムの「Palexy」と協業し開発いたしました。

博報堂プロダクツは今後も、イベント領域における体験価値の提供だけでなく、データを組み合わせたPDCAサイクルの循環に寄与する、DX時代の新しい前例を作ってまいります。

*テクノ・システム・リサーチ社調べ「ネットワークカメラのクラウド録画サービス市場調査（2022）」より、エンジン別カメラ登録台数ベースのシェア（56.4%）

■イベスコの特徴と強み

来場者数/属性の分析	概算での数ではなくネットワークカメラの映像を AI 解析し精緻に計測。映像から属性情報などを分析が出来るため、ターゲット層の含有率などの測定も可能です。
来場者関心度の分析	高精度な AI でイベントの映像の解析により、エリア毎の滞在時間や回遊率を測り、今まで感覚値で評価していた来場者の関心度を可視化することができます。
イベント事後のデータ利活用	取得したデータをもとに、イベントの詳細な分析を行うことで、今までのイベント評価軸を変え、さらにコンテンツ・レイアウトの改善に繋げることが出来ます。

■具体的な活用イメージ

展示会/ カンファレンスイベント	来場者数把握と、来場者属性、展示コーナー毎の回遊等、「イベスコ」の機能を有効にご活用いただけます。また、イベント会場全体や大規模イベントの入場口など、カメラを設置できる環境があれば、イベント主催者様の活用も可能です。
POP UP/旗艦店	店舗向けソリューションを改良して開発しているため、出入口が固定されている種類のイベントではさらに効果を発揮します。来場者データと購入者のデータを組み合わせて新たな視点のイベント分析も検討可能です。

※文中に記載されている会社名、商品名は各社の商標または、登録商標です。

※この情報は発表日現在の情報です。検索日と異なる可能性がございますので予めご了承ください。